

学校内でデジタル技術を体感

都立光明学園は、2種類の障害種別（肢体不自由・病弱）、3学部（小学部・中学部・高等部）の子供が通う特別支援学校です。障害や発達の程度がさまざまな子供たち全員を笑顔にするというコンセプトで、校舎内には二つのアトラクションが設置されました。

【バーチャル体験】映像と音楽のアトラクション。体育館の壁に映し出されたプロジェクションマッピングが体の動きに連動する様子を楽しみました。

【サイバーボッチャ】機械が点数計算やゲーム展開の判断をして、音声で進行してくれます。子供たちは、巧みな投球や戦術を披露していました。



- ・コロナ禍で行事がたくさん潰れた。今回のような機会があって嬉しい。
- ・障害のある子供がいると、荷物の多さ、バリアフリーのお手洗いの場所、周囲の目など、一回の外出で考えなくてはいけないことがたくさんある。加えてコロナ禍で、ますます外出がしづらくなってしまった。今回学校という安心安全な場所で、こうしたイベントを開催してもらえてよかった。（保護者より）